

目次

1～3面

2026年 年頭座談会

戦争への道を突き進む高市反動政権

内閣支持の高さが孕む日本社会の危機的状況

藤原晃（学校労働者・司会）／広野省三（活動家集団 思想運動）／稲垣博（『思想運動』編集部）／逢坂秀人（自治体非正規労働者）／沖江和博（国際政治研究）／米丸かさね（清掃パート労働者）／藤本愛子（公務労働者）

1月31日(土) HOWS 講座

米国によるベネズエラに対する戦争NO！—— 高まるトランプ政権の軍事介入の危険  
講師＝富山栄子（国際交流平和フォーラム代表）

1月21日(水) 壊憲NO！96条改悪反対連絡会議の労働者・人民集会

辻元清美議員との対話集会（第2回）

4～5面

2025年冬季醸金へのご協力を

（活動家集団 思想運動）常任運営委員会

戦争を止め平和をつくる旅

高市発言の直後に中国を訪問

高梨晃嘉（かながわ歴史教育を考える市民の会）

エッセイ

「非核三原則の見直し」に進む高市政権

「絵空事」ではない日本の核武装

在間秀和（弁護士）

6面

文科省前「金曜行動」が600回突破

「声よ集まれ」金曜行動600回突破拡大街宣

文科省に向け1000人が抗議

秋山真也

「金曜行動」600回に思う

闘いつづければ必ず勝利が待っている

長谷川和男（朝鮮学校「無償化」排除に反対する連絡会共同代表）

朝鮮学校を支援する全国弁護士フォーラム2025大阪を開催

丹羽雅雄（同フォーラム実行委員長・大阪訴訟弁護団長）

前照灯

永遠の瞬間

7面

ストップ！ 土砂投入 海上アピール

へり基地反対協議会・海上行動チーム

自然災害と「制裁」

キューバ緊急支援カンパに協力を

柏崎刈羽原発の再稼働を許すな！  
県庁包囲行動で新潟県知事に抗議

本間保（柏崎刈羽市民ネットワーク）

原発事故被災者の声（49）  
15年経とうとする原発事故被災地の現実  
原発を国策として進めた国と電力会社

國分富夫（原発事故被害者 相双の会）

## 8面

モノ言う労働者こそが安全・平和を支える  
JAL本社前行動に参加

友田幸枝

戦後80年を過ぎ、もうアメリカから"独立"し、憲法を基本にした道を歩む時期ではないか  
二瓶久勝（元国鉄闘争共闘会議議長）

「2026 田中正造カレンダー」の普及に協力しよう！

## 9面

ALBAは今後も引き続き連帯と尊厳ある抵抗の重要な場となるであろう  
ラテンアメリカ、カリブ海はだれの“庭”でもない  
ミゲル・ディアス＝カネル（キューバ共産党中央委員会第一書記兼共和国大統領）

川柳

笑い茸

催物案内

## 10面

映画『最初の年』（パトリシオ・グスマン監督、1972年、チリ、96分）  
チリ人民連合政府の「最初の年」は、労働者・人民を「繁栄」の入り口に案内し、ブルジョワたちに「貧困」をちらつかせた

井野茂雄

ケーテ・コルヴィッツの「戦場」を見て

山本恵美子（『トルソー』同人）

## 11面

豊里友行写真集『おきなわ』  
写真集のページを開いて

菊池麻衣子（全労働者組合）

榎本清編『ラッドライト 敗れざる者たち | 全臨労五〇年 闘いの記憶と記録』  
「労働者は人間だ」の叫びを

須田光照（全国一般東京東部労組）

『非正規労働者、国会へ 愛と連帯』（大椿ゆうこ著）  
労働者の当事者性の創造へ

米丸かさね（清掃パート労働者）

金琮哲著／許景民・林鐘仁訳

『野蛮な時代—— 金大中救出運動の核心 在日韓統連、その壮絶な闘いと迫害の五〇年』

12 面

憲法寄席「ヒロシマというとき—詩人 栗原貞子の生涯」  
三度目の「パレーシア」の実践

丸川哲史（明治大学教員）

頂門一針  
「戦争画」とは？

紙つぶて  
「存立危機事態発言」は“災害”なのか？

伊地知柊三（埼玉県在住）

頒 春 2026 年 1 月 1 日

活動家集団 思想運動

編集部発